

第6回日本血管看護研究会
第49回日本血管外科学会学術総会合同開催



新しい世代へつなげる周術期の血管看護実践

2021年5月19日(水)～6月25日(金)
第49回日本血管外科学会学術総会 Web オンデマンド配信
<http://www.congre.co.jp/jsvs49/>

大会長：中山佳之 一般財団法人 住友病院
代表世話人：溝部昌子 西南女学院大学

プログラム

基調講演：「周術期における静脈血栓塞栓症の予防と管理」

一般財団法人 住友病院 中山佳之

特別講演1：「バスキュラーアクセス（シャント）の周術期管理」

医療法人東和会 第一東和会病院 玉木裕二 先生

特別講演2：「破裂性腹部大動脈瘤症例の周術期看護」

公立大学法人 奈良県立医科大学病院 垣内卓也 先生

特別講演3：「COVID-19 の経験が方向づける新しい看護教育の姿—基礎教育と新人教育にできることを考える—」

西南女学院大学 保健福祉学部 溝部昌子

開会挨拶

第6回日本血管看護研究会
大会長 中山 佳之
一般財団法人 住友病院

この度、2021年5月19日～6月25日において、第6回日本血管看護研究会学術集会を開催致すこととなりました。この研究会は2016年に日本血管外科学会の後援を受け、溝部昌子先生を代表世話人として発足いたしました。前年度同様、日本血管外科学会学術総会のWeb開催に伴い、Webオンデマンド配信での開催となります。COVID-19が落ち着かない状況の中、様々なご支援を受けオンデマンド配信での開催ができることをうれしく感じております。第6回のテーマは、「新しい世代へつなげる周術期の血管看護実践」と題し、「血管看護」と「周術期看護」そして「看護教育」をキーワードとし、新しい見地から血管看護分野で活躍する皆様と共に、看護実践を共有していきたいと願っております。

特別講演1の第一東和会病院 玉木裕二先生には「バスキュラーアクセス（シャント）の周術期管理」というテーマでご講演をお願いしております。手術看護認定看護師としてのご活躍の中で、手術からみるバスキュラーアクセス管理について示していただきます。特別講演2の奈良県立医科大学附属病院 垣内卓也先生には、「腹部大動脈瘤破裂症例の周術期看護」というテーマでご講演をお願いしております。同じく手術看護認定看護師としてご活躍の中で、大動脈疾患の患者救命における術前から術中、術後の看護実践について解説していただきます。また、特別講演3では溝部昌子先生より、「COVID-19の経験が方向づける新しい看護教育の姿 ―基礎教育と新人教育にできることを考える―」というテーマで、看護教育者の視点から、このコロナ禍での看護教育について示していただきます。

血管看護は幅広く、様々な分野でご活躍の皆様と共に「血管看護」を深めていければ幸いです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

基調講演

周術期における静脈血栓塞栓症の予防と管理 中山佳之 Nakayama Yoshiyuki (一般財団法人住友病院)

肺血栓塞栓症 (pulmonary thromboembolism: PTE) は、静脈系で形成された塞栓子 (血栓、脂肪、腫瘍、空気、羊水中の胎児成分など) が血流に乗って肺動脈を閉塞し、急性および慢性の肺循環障害を招く病態である。下腿の深部静脈血栓 (deep vein thrombosis: DVT) からの血栓遊離によるものが多いために総称して、静脈血栓塞栓症 (venous thromboembolism: VTE) と呼ばれている。

手術操作による静脈壁の損傷や手術侵襲による血液凝固能の亢進、体位固定による静脈血うっ滞といった、いわゆる Virchow の三徴が相互に絡み合う状況に患者は置かれることになり、DVT 発生の危険性は高くなる。さらに近年の内視鏡手術やロボット支援下手術などによる特殊体位や長時間手術、患者の高齢化などの因子も付加的要因となる。手術中に発生した DVT が術後離床時に遊離し、PTE を引き起こす。そのため周術期において VTE は重篤な二次的合併症の一つとして挙げられ、周術期管理の携わる看護師は、その機序を理解し、VTE 予防に努めなければならない。

VTE 予防策は、主体的な運動による理学的予防法と弾性ストッキングや間欠的空気圧迫装置などの医療機器による予防、抗血液凝固薬による薬物療法がある。VTE 発生リスクをスクリーニングした上で、それぞれの予防策を選択していく必要がある。また予防法の中で弾性ストッキングや間欠的空気圧迫装置は、機械的圧迫により DVT 予防効果があるが、不適切な使用や管理方法により、医療関連機器圧迫創傷 (medical device related pressure ulcer: MDRPU) が発生する危険性がある。取り扱いにはその特徴を理解し、管理すると共に患者にも指導が必要となる。

今回、手術看護認定看護師として、自施設の静脈血栓塞栓症対策ワーキンググループに参加した。その活動報告を含め、①周術期 VTE 発生機序、②VTE 発生リスクスクリーニング、③弾性ストッキングと間欠的圧迫装置の特徴と MDRPU 予防について、周術期に携わる血管看護の一員としての役割を共有したい。

略歴

【所属】一般財団法人住友病院 手術室 下肢救済センター

【略歴】特定医療法人生長会府中病院、一般財団法人住友病院において手術室勤務

【資格】手術看護認定看護師、臨床工学技士、三学会合同呼吸療法認定士、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター (同講習会協力員)

【主な論文】「静脈血栓塞栓症予防における手術看護の役割と課題」脈管学 2020 年 60 巻 1 号 p.7-11

特別講演 1

バスキュラーアクセス（シャント）の周術期管理
玉木裕二先生 Tamaki Yuji （医療法人東和会第一東和会病院）

透析患者は 1985 年に約 6 万人であったのが、2015 年には約 32 万人と、この 30 年で約 5 倍に増加している。透析導入患者の平均年齢は徐々に高齢化し 1985 年は 54.4 歳であったのが、2015 年には 67.8 歳と高齢化している。また原疾患では、2015 年のデータで一番多い糖尿病性腎症（38.6%）は増加傾向にあり、二番目に多い慢性糸球体腎炎（29.8%）は減少傾向にある。高齢化、糖尿病性腎症の増加は末梢血管病変を伴う透析患者が多くなりつつあることを示しており、透析アクセスの確保、維持がより困難となることが予想される。血液透析を受ける患者にとって、VA：バスキュラーアクセス（以下シャント）は透析治療を受けるためには必要不可欠なものであり、ひとたびシャントトラブルが起こると透析効率を左右し生命予後に影響を与える重要な命綱といえる。シャントトラブルを起こすと経皮的シャント拡張術、血栓溶解療法、血栓除去術、シャント再建術が必要となり、患者の QOL を著しく低下させる。シャントトラブルの対応には早期発見、早期対応、早期治療がきわめて重要となる。

シャント閉塞について中井（2012）は「80%以上がもともと静脈に狭窄があるところに脱水や低血圧、ショック、凝固能の亢進などの要素が加わることで起こる」と述べている。術中のシャントトラブルのリスクは体位や、循環動態が大きくかかわっていることが考えられる。シャント音やスリルの観察、シャント肢の冷感、疼痛、循環障害、脱水の有無、シャント保護を重視した体位固定など、注意して観察を行っておく必要性がある。

シャントを有する患者に、質の高い看護実践を提供するには、個々に評価することが求められる。単純にシャント音が聞こえた、スリルが触れただけでなく、「見る・聞く・触る」を基本とした理学的所見を観察する事も必要となる。VA（シャント）機能の開存率改善について日本透析医学会（2011）は「VA 機能・形態不全を早期に発見するためにはシャントトラブルスコアリングの実施が VA の開存率を改善する方法と考えられる」と述べている。周術期におけるシャントトラブルスコアリングシートの作成・活用について共有したい。

略歴

2015 年 麻酔科学会周術期管理チーム認定看護師取得

2017 年 手術看護認定看護師（兵庫医科大学にて研修終了）を取得

2020 年 手術室副主任として勤務

特別講演 2

破裂性腹部大動脈瘤症例の周術期看護

垣内卓也先生 Kakiuchi Takuya (公立大学法人奈良県立医科大学附属病院)

破裂性腹部大動脈瘤 (ruptured abdominal aortic aneurysm : rAAA) は、発症すると短時間で死に至る急性期致死率の高い病態である。2020 年改訂版大動脈瘤・大動脈診療ガイドラインによると rAAA に対する救命治療としては外科的人工血管置換術 (open surgical repair : OSR) とステントグラフト内挿術(endovascular aneurysm repair : EVAR)の二つの手術治療が基本的な治療とされている。また、森景 (2003) らの報告によると rAAA 発症から手術までの時間 5 時間以上は有意な手術死亡の危険因子と報告しており、rAAA は、患者救命において 1 分 1 秒を争う病態であるといえる。周術期に関わる看護師として、rAAA の患者をいかに安全かつ迅速に緊急手術へ導くかが救命の鍵になると考えられる。そのためには、円滑な手術展開をしていけるような事前の体制構築や術前経過・手術の流れ・術後合併症に対する知識が必要となる。

術前では、rAAA の症状として突然の腹痛や背部痛以外にもショック症状にいち早く気づき、心停止に至らせないことが救命の要となる。そして、突如血行動態が破綻した場合、心肺停止になる可能性も考慮して心肺蘇生ができる人員と環境を整えながら術前検査や処置を行い、大動脈遮断ができるように器械や材料も確保しておく。また、rAAA の緊急手術では、術前から患者の意識がないこともあり、インフォームドコンセントができる状態でないことも少なくない。そういった状況で携わる医療職者はどのような患者の権利があるかを理解しておかなければならない。

手術の流れについては、円滑な手術展開ができるように OSR と EVAR の両方に対応できる準備をしておかなければならない。現在、手術の第一選択は EVAR であるが、今回は、OSR を中心に予定手術との違いや特殊な閉腹方法の目的などを手術看護の視点から示す。

術後のポイントとして、rAAA 術後の合併症として代表的な腹部コンパートメント症候群(abdominal compartment syndrome : ACS)について、それに伴って行うべきモニタリングの膀胱内圧測定を含め知っておかなければならない。また、手術治療後死亡するケースにおいて、その家族への悲嘆プロセスへの介入についても術後の看護として重要であると考え。

今回、rAAA 症例の周術期に携わる看護師が知っておくべきポイントとして上記のことを術前・術中・術後に分けて示していきたい。

略歴

2017 年 看護学学士の学位を取得。

2018 年 手術看護認定看護師 (兵庫医科大学にて研修修了) を取得。

2021 年 10 区分 24 行為の特定行為研修 (自施設にて) を修了。

特定行為が行える手術看護認定看護師として、様々な診療科における手術看護の質向上を目指している。

特別講演 3

COVID-19 の経験が方向づける新しい看護教育の姿

-基礎教育と新人教育にできることを考える-

溝部昌子 Mizobe Akiko (西南女学院大学保健福祉学部看護学科)

2020 年度は、COVID-19 パンデミックによる緊急事態宣言と共に多くの大学がオンラインで教育を提供し、密が避けられない講義や演習、臨地実習が制限された。その後、段階的に対面授業や実習は再開されたが、2 度目の緊急事態宣言や局所的なクラスター発生により、安定的でない教育体制が続いている。コロナ禍での看護系大学の対応を振り返り、基礎教育と新卒入職者に対する教育への期待を検討したい。

大学設置基準では、平成 13 年文部科学省告示「大学における多様なメディアを高度に利用した授業について」以降、遠隔授業が正規の方法として位置づけられており、先般では、「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン (R2.6)」等の通知に則り、各大学が対応した。遠隔授業にはライブ配信型とオンデマンド型があり、音声、動画など多様なメディアを活用すること、インターネット回線で配信可能であること、学生に課題を課すことに対して講義が一定以上の割合を占めること、学生と教員の双方向性の機会が確保されることなどの条件がある。これにより学修目標や到達度は届け出されたシラバス通りに履行され、単位修得されたことになる。実際に、一般的な教科目においては、「自分で資料を調べて学修することができた」、「自分の意見を持ち、発することができるようになった」との学生意見は多く、大学教員の多くは遠隔授業の可能性やメリットを知ることとなった。

実習教育は、「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について (R2.6)」等に従い実施されている。地域や施設特性により条件は異なるものの、従来掲げていた実習目標を、従来とは異なる方法で学修するために、それぞれの看護系大学がまさに苦肉の策を講じてきた。シナリオシミュレーションに基づく看護演習や、医療ドラマや映画、DVD 教材を用いたディスカッションなどであり、この教育の成否は今後明らかにされるだろう。

先ごろ日本看護系大学協議会 (JANPU) を通じて発信された意見は、知識・思考・技術の学修は附属病院を含めた自施設で、学生の現場体験は看護助手のアルバイトなどで補完するというものであった。初学者で、無資格者である看護学生が、外部の臨地実習施設や一般市民である患者の善意に依存しないで学べる環境や教材を大学は整備する努力が必要で、医療機関においては、患者や医療者を含めた多様な人々との医療を通じたコミュニケーションに関する教育方法の検討が必要となっている。

第6回日本血管看護研究会アンケートにご協力ください。
アンケートフォーム QRコードはこちら→



第6回日本血管看護研究会

大会長 中山佳之

実行委員 大久保縁 中山佳之 溝部昌子



日本血管看護研究会

Japanese Society for Vascular Nursing

E-mail:vascular.nursing@gmail.com

URL:http://jsvn.umin.jp

